



心臓外科における医工学 技術の歩みと心臓手術の進歩

～最先端医療の現場での善と悪とは～

フォーラム

心臓外科の進歩は、手術手技の向上のみならず、心臓手術に必要な機器と器具の発展によるところが大きい。しかしながら、いくら最新の機器を用いた最先端の医療を試みても、その適応を誤っては、治療を受ける患者にとっては「悪」以外のなにものでもない。

一方、いくら専門医資格を有する心臓外科医でも、その技量不足が故に、手術方法の変更を正当化して行うことは、医療上は標準的な結果を出せる治療法であり、一般に「善」とされる手術内容であっても、手術を受ける患者にとっては「最善」ではなく、むしろ結果的に「悪」の場合も存在する。

具体的には、技量を有する心臓外科医であれば選択する手術方法を、「そんな方法もあるが、それはあなたには向かない。ゆえに私が行う治療が最善だ」との説明で、患者が納得したとしても、患者にとっては「善」とりわけ、「最善」とは言えないし、その説明-informed consent-自体は「悪」と考えられるという事例がこれに当たる。

最先端医療の現場では、治療方法およびその結果が、標準レベル以下では、患者にとってももちろん「悪」であろうが、標準レベル以上であっても、「最善」でなければ、これまたある意味、命に係わる我々の領域の患者にとっては、「悪」と言えるかもしれない。すなわち、我々の領域には、「最善」と「悪」しかなく、まあまあ許される範囲としての「善」は許されないのである。

講師：

札幌医科大学医学部心臓血管外科学講座 教授
同大学院医学研究科呼吸循環機能治療学 教授
樋上 哲哉氏

成人心臓血管外科(冠動脈外科、弁膜症外科、大動脈外科、再生医療)のフロントランナー



【日時】2014年12月4日(木)午後5時30分から6時30分

【場所】東京工業大学 大岡山キャンパス西9号館2階 デジタル多目的ホール

【予約】学外者で参加を希望される方は、事前に予約を行ってください。

件名に【フォーラム予約】、本文に氏名と所属を記入してください。

予約アドレス: arasakin@valdes.titech.ac.jp

問い合わせ: 03-5734-4117 (院生室内線: フォーラム委員M1 荒崎)

【備考】入場無料、服装自由